

エモーションときはなつアートの祭典

第52回
沖縄県芸術文化祭

Okinawa Art & Culture Festival 2023

エモーションときはなつアートの祭典

第52回

沖縄県

芸術
Festival
2023

文化祭

主催：沖縄県・(公財)沖縄県文化振興会

共催：東村・東村教育委員会・九州文化協会・沖縄県文化協会

後援：沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK 沖縄放送局・沖縄テレビ放送・琉球放送・琉球朝日放送・
エフエム沖縄・ラジオ沖縄

【お問い合わせ先】
(公財)沖縄県文化振興会 TEL.098-987-0926



詳しくはHPをご覧ください <https://www.okicul-pr.jp/kengeisai/>

第52回沖縄県芸術文化祭図録 令和5年10月13日発行 無料配布
令和5年11月9日訂正版を掲載



写真・美術・書道 公募展 図録

CONTENTS

主催者あいさつ	1	
■ 写真公募展		
各受賞者作品・審査員講評	2	
写真公募展出展作品一覧	6	
■ 美術公募展		
各受賞者作品・審査員講評	8	
美術公募展出展作品一覧	12	
■ 書道公募展		
各受賞者作品・審査員講評	14	
書道公募展出展作品一覧	18	
■ 歴代部門別入賞者一覧		20

本展——写真・美術・書道 公募展

[会場]

沖縄県立博物館・美術館

入場無料

[期間]

2023年10月14日(土)～22日(日)

*初日10/14(土)は展示時間10:00～20:00(入館は19:30まで)
*開館時間は火・水・木・日は9:00～18:00(入館は17:30まで)
*金・土曜日は9:00～20:00(入館は19:30まで)
*10/16(月)は休館日

写真・美術選抜展

写真部門

[会場] 東村立山と水の生活博物館

[期間] 2023年10月24日(火)～11月8日(水)

*月曜日と11/3(金・祝)は休館

美術部門

[会場] 東村文化・スポーツ記念会

[期間] 2023年10月24日(火)～11月7日(火)

*水曜日と11/3(金・祝)は休館

令和5年度 沖縄県伝統芸能公演

重要無形文化財保持者等公演

日時:11月1日(水) 18時30分開演

場所:金武町立中央公民館

入場無料

主催者あいさつ



沖縄県知事
玉城 デニー

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら
第52回沖縄県芸術文化祭の開催に当たり、御挨拶を申し上げます。
沖縄県芸術文化祭は、県民の多様な文化芸術活動を奨励し、文化の向上と発展を目的として、沖縄が本土復帰した昭和47年から毎年開催しております。
今年も多く県の皆様から、写真・美術・書道の各部門合わせて、499点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、305点の作品が入選されました。
この度、沖縄県知事賞をはじめ、入賞された皆様並びに入選された皆様、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。
作品については、県立博物館・美術館に展示しておりますので、是非足をお運びいただき、多くの優れた作品を御覧いただければ幸いです。
また、本展終了後には、東村立山と水の生活博物館において写真移動展、東村文化・スポーツ記念館において、美術移動展を開催いたします。
さらに本芸術文化祭では、舞台部門として金武町中央公民館において、重要無形文化財保持者等による組踊や琉球舞踊等の舞台公演を開催するとともに、組踊の楽しさを体感できるワークショップを実施します。
地域住民の皆様をはじめ多くの方々に、沖縄が誇る伝統芸能の魅力を存分に堪能していただきたいと思います。
沖縄県としましては、今後とも県民の皆様が文化芸術を鑑賞、参加、創造する機会の充実を図るため、担い手の育成や、文化活動を支える基盤の形成に取り組むなど、文化芸術活動を奨励・支援するとともに、広く芸術鑑賞の機会を提供してまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いします。
結びに、沖縄県芸術文化祭の開催にお力添えをいただきました審査員をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げ、挨拶いたします。



公益財団法人 沖縄県文化振興会
理事長 金城 賢

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら
第52回沖縄県芸術文化祭公募展の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。
沖縄県芸術文化祭は、県民の皆様の多様な芸術文化活動の奨励と優れた芸術作品の鑑賞の機会の提供を通して、県民文化の向上に寄与することを目的に昭和47年度から毎年開催しており、今年で52回目を迎えます。
今年度は、10歳から93歳までの沖縄在住の方々から499点の作品の応募があり、厳正なる審査の結果、305点の作品が入選となり、ここ沖縄県立博物館・美術館の企画展示室に展示されております。また、当館県民ギャラリーにおいては、審査員及び無鑑査の方々の作品も展示されており、芸術文化の祭典としてにぎわいをみせております。
また、本展終了後、東村では、東村立山と水の生活博物館にて写真作品の、東村文化・スポーツ記念館にて美術作品の選抜移動展を開催することとしております。
さらに、金武町において重要無形文化財保持者等による舞台公演を実施することとしており、国の無形文化財である組踊及び琉球舞踊の多彩な演目を披露することで、伝統芸能の奥深さを北部地域の多くの皆様に感じて頂けるものと考えております。
第52回となる今年の芸術文化祭では、伸びやかな作品や厳しい世界情勢から受けた衝撃を表現した作品のほか、新たな時代の息吹を感じさせる若い世代の作品など実に多彩な作品が出品されており、これまでに増して見応えのある公募展になったものと考えております。
沖縄県文化振興会は、「みせる・つなげる・ささえる・つくる・そだてる」を文化芸術活動支援の五つの柱として取り組んでおります。県民の皆様には、本芸術文化祭を通して芸術文化活動を生活の一部と感じ、身近な芸術文化を楽しむきっかけとなれば幸いです。
最後になりましたが、高い創作意欲と情熱をもって挑戦された応募者の皆様や、長年審査及び啓蒙に取り組まれている審査員の皆様、その他、沖縄県芸術文化祭の開催、運営にご支援を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げ、ご挨拶いたします。

第52回沖縄県芸術文化祭 写真公募展

◆ ◆ ◆ ◆ 写真総評 ◆ ◆ ◆ ◆

8月6日に予定されていた審査会は、台風接近のため11日に延期となり、また延長した搬入時間でさえも、長引く台風の影響で激しい雨の降りしき中、作品提出を断念した方もいた事を、審査が終わった後で風の噂で知った。

さて、本展は今年で58回を迎えて、すっかり恒例行事となったが、今年はコロナ禍収束後初めての公募となった。本部門では、出品者131名、作品総数241点の応募があり、点数でいえば以前に戻ったようにも見える。しかし、内容を見ると、以前に比べて被写体との距離、ソーシャル・ディスタンスの名残を感じたのは私だけではあるまい。写真はそのようなメディアであるような気がする。

審査会は台風による延期の影響もあり、例年のように公開ではなかった。正直、観客の見守り中での緊張感は無かったが、といって手を抜くことは決して無かった事を付け加えておきたい。私たちは、入選者や入賞者をできる限り公正な目で審査しなければならない。作者名を伏せて審査する方法も、公正さを担保するためにできたものである。

やはり風の噂で、自身の応募した数点の内、自信のない作品が通ったなどという事を聞いたが、これはよくある事。審査員は、経験年数も専門分野も違う。そんな中でそれぞれの視点から、新奇性、伝統的価値、美的・哲学的観点、ユーモア、社会学的洞察、またそれらの表現力など沢山の選出項目を、それぞれが駆使したのである。

写真部門審査員長 仲本 賢

■ 沖縄県知事賞

「まどろみの中のサガリバナ」

山内 利江子



山内さん、県知事賞受賞おめでとうございます。

さて私たちは、普段から見えてる部分が正しいと判断して生きているように思えます。果してそれは正しいことだろうか、むしろ見えない部分に大切なことが隠されているのではないのでしょうか。作者は、花の形を角度を変え撮る事でさがり花の内面性を写し取る事に意識を向けたそうです。作品はシンプルなモノトーン描写とローキー調に仕上げる事で作者の作画意図が見事にマッチし、女性の持つ神秘的な普遍的世界観があふれる画に仕上がりました。

女性の繊細美をメタファーとして花は総じて女性と私は考えます。写真には外面と内面を見せる作品があります。山内さんの作品は後者の見る側に表層裏の物語をイメージさせる作品となっています、正に考えさせる作品です。これからも自身のイメージを追いかけ、見せる、或いは考えさせるコントラクトティブフォト創りに邁進してください。

審査員 東 邦定

■ 奨励賞

「くらくないとめざめた」

崎原 光明

目覚めたばかりなのか、これから寝ようとしている所なのか、シーツの上でたたずむ幼子の物憂げな表情を見て、つい自分の子どもと重ねてしまうほど引き込まれてしまう写真です。広角レンズを使い、至近距離まで被写体に寄って、家庭でのワンシーンを自然に切り取っています。

この作品の特徴はピントです。人物撮影ではピントを瞳に合わせるのがセオリーですが、偶然なのか必然か、ピントを外したことで、画面いっぱいに配置された子どもが柔らかい印象になっています。室内を照らす光と被写体の陰影とのコントラスト、色合い、どこか一点を見つめる表情と相まって、子の成長の過程を見守る愛情を感じさせます。

審査員 又吉 康秀



■ 奨励賞

「魅せられて」

喜名 朝駿

「魅せられて」・・・秋田県熊代市「港まつり 熊代の花火」を撮影した写真で“匠の技”を彷彿させる作品である。

光を読んで、一瞬の輝きを逃さず、シンプルなフレーミングだが左右対称(シンメトリー)で丁寧に仕上げている。

写真は一般的に撮影、レタッチ、プリントの完成度が大きく影響する。

撮影は、三脚を使い適度な高さ角度から広角レンズを使い、手前の観客から左右に広がる壮大な花火までをド迫力に捉えている。白飛び押さえのNDフィルター使用も撮影技術が高い。

レタッチも、花火に付き物の煙を丹念に削除し、暗い部分は黒く、花火の部分は白飛びしないように、繊細に処理されている。

プリントも、大型プリントで綺麗に印刷され完成度が高い。

作者の思いは、きれいな花火を更にきれいに仕上げ、見る人に感動を与える作品作りを目指したそうである。

これからも更に腕を上げ沖縄から、世界へ羽ばたける素晴らしい作品を期待しています。

審査員 長堂 哲



■ 新人賞

写真集「瞬(しゅん)」

陳 敏



写真集「瞬」を見た私の第一印象は、これが写真集？との驚きでした。

この作品の外函には、絹の様な布が張り付けられ中国の古典的な文字と思える書体で瞬と掘り込みされ、その外函の中に木目の美しい木製の板を表紙にした写真集が収納されています。私の第一印象は大切な宝物を収納する宝箱に見えました。

陳さんの作品には、南北に長い日本の国土を、亜熱帯の沖縄から雪国の北海道まで足を運び、丁寧に各地域の風土や文化を外国人の視点でとらえた写真の数々が整理収納されているのには驚きました。

また、各写真は一枚一枚蛇腹の様に折りたたまれ、丁寧にめくって見ないと壊れそうな貴重な物を見る時の緊張感が漂う折り本形式の写真集で、母国の文化との違いや類似点、地域で出会った人々との思い出の一瞬を大切に保管したいとの思いで、丁寧に手作りした写真集だと思いました。創造力を十分に発揮した写真集でした。

審査員 宇久田 全正

■ 沖縄県文化振興会理事長賞

「もぬけ」

高野 大

どこ誰かは知らないが、みんな必ず知っている。そんな視点を体現した見事な作品です。

どこかのガソリンスタンドを撮影した作品ですが、この様な見方を私は知りません。タイトルの通り、閉店しているのでしょう。骨だけの屋根、静かに佇む柱や管、整然と並んだどの構図の中にも、人の気配がまるでありません。それでいて、どこか優しく、穏やかな色合いとの対比が、相反する要素の調和を生んでいます。

私たちはカメラを手にとると、どこか非日常に飛び込みたくなるものです。お祭り、伝統文化、珍しい動物、素晴らしい風景、普段はお目にかかれない何かに出会う時、それを活写するのは、カメラを手にした者の一興でしょう。しかし案外、日常にこそ、非日常は隠れているのかもしれませんが。それを見つけるのも、また一興でしょう。

タイトルの「もぬけ」とは、もとは動詞です。どうやら作者は、脱皮に成功した様です。おめでとうございます。

審査員 又吉 亮太



■ 奨励賞

「ダキジェーク」

名嘉 久美子



沖縄では、金属やプラスチック製品等の生活用具が普及する以前は竹で編まれた手作りのカゴなどがモノを入れたり運んだりする一つの用具、生活必需品として数多く利用されてきた。しかし、時代と共に手作り竹細工製品の利用は少なくなり、多くいた竹細工職人さん達も現在の沖縄には県の竹工芸認定士ただ一人だけを残すのみとなっていると言われている。

今回の奨励賞受賞作品、ダキジェークは(沖縄方言で竹細工のこと)沖縄で唯一の竹細工職人が作品を生み出す貴重な製作現場を臨場感あふれる視点で生々と捉えている。

竹細工では、ひご作り70%、編み込み30%と言われており、三点の写真はそれぞれが無駄のない構成で成り立っている。完成品の均質な間隔で編み込まれた竹の美しさもカメラのレンズのボケ味をうまく生かし、組み写真にすることによって時間と生活の営みをも感じさせるストーリー性のある素晴らしい作品となっていると思います。

審査員 根間 芳和

■ 写真公募展作品一覧

審査員出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
裸のピーナス [私を見て]	110×150	2点組	東 邦定
軍艦島	53×43	単	伊禮 健
花かんざし	48cm幅の額1個	単	宇久田 全正
宇流麻島誕生の記録	65cm幅の額2個	組	宇久田 全正
ブラフマンに到達したくて…	70cm×50cm	2点組 モノクロ	浦本 寛史
秋の陽光	42×59.4	単	新里 英治
たそがれ時のシンフォニー	51.5×66.5 (A2)	単	長堂 哲
メルカトル・パノラマ 230320_124526-124803 OUA_b11 Osaka JPN 15	100x150	単	仲本 賢
image_221220	145.6×103	単	又吉 亮太
石の鼓動	130×90	単 カラー	根間 芳和

無鑑査出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
生きる	76×110	単	松門 重雄
母の手	55×36(全紙)	単	吉直 新一郎
戦禍を潜り抜けてきた筈	62×72	単	國吉 倅明
我らモアイ仲間	65×90	単 モノクロ	玉城 健次郎
カトマンズから来た女	71×52	単 モノクロ	玉城 健次郎
写真集「栄町スージ小物語」	A4・30頁	写真集 モノクロ	玉城 健次郎
明けしー時	72×100	単	島元 智

写真入賞作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
沖縄県知事賞 まどろみの中のサガリバナ	81.5×115	組	山内 利江子	読谷村
沖縄県文化振興会理事長賞 もめけ	120×100	組	高野 大	宜野湾市
奨励賞 ダキジェーク	85×113	組	名嘉 久美子	豊見城市
奨励賞 くらくないとめざめた	145.6×103	単	崎原 光明	豊見城市
奨励賞 魅せられて	90×150	単	喜名 朝駿	那覇市
新人賞 瞬	13.5×13.5	写真集	陳 敏	那覇市

写真入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
村の人気者(三者三様)	60×90	組	知念 清市	今帰仁村
集いの丘	74.5×60	単	喜友名 トミ子	宜野湾市
生存競争	60×140	組	松田 昌一	沖縄市
Monochrome space	51×62	単	永味 節子	中城村
旅籠の番頭さん	51.5×62.5	単	當山 清裕	浦添市
水壁	120×52	単	宮城 哲子	那覇市
指先のキオク	53.9×64.4	単	山内 利江子	読谷村
なかゆくい	61.5×72.5	単	具志 明	八重瀬町
晩秋の廃船	61.5×72.5	単	具志 明	八重瀬町
朝日影	51.5×66.5	単	表神明 利則	那覇市
ザルツブルクの街角	81×111	組	川満 昭男	西原町
ぼく名カメラマン	52×73	単	川満 昭男	西原町
華やぐ心	780×56.5	単	諸見里 安吉	うるま市
もうすぐ独り立ち	109×76	組	町田 宗昭	沖縄市
カーチーペー	67.8×101.8	組	新垣 隆吾	与那原町
ハーリー日和	72.3×61.2	単	新垣 隆吾	与那原町
マングロープの息吹	62×45	単	与那城 純子	那覇市
新婚さんパンザーイ	45.9×56.2	単	又吉 全一	豊見城市
西日の頃	56×74	組	又吉 英男	浦添市
風が	65×89	単	又吉 英男	浦添市
初仕事(鯖便)	64×49	単	喜屋武 敬子	豊見城市
モーニングハンバーガーセット	61.5×73	単	仲栄真 宏	那覇市
笑顔満開	52×62	単	赤嶺 喜孝	那覇市
思案中	52×62	単	赤嶺 喜孝	那覇市
にらめっこ	73×62	単	仲本 昌雄	うるま市

写真入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
親子の愛	80×110	組	新垣 フミ子	南風原町
真昼の行進	62×74	単	新垣 フミ子	南風原町
僕も遊びたいなー	43×59	単	松岡 洋市	西原町
二人や首ちり友達	52×73	単	比嘉 久美	南城市
椅子のある船置場	51.5×62.5	単	桃原 正憲	那覇市
竜の話をきく	30.9×46.3	単	宮城 米子	中城村
無言の車中	46.3×30.9	単	宮城 米子	中城村
ぼくが主演	47.5×63.5	単	中山 尚子	南城市
懐かしい風景	47.5×63.5	単	中山 尚子	南城市
威嚇の目	89×72	単	菅原 壮	沖縄市
奪いあい	72×89	単	菅原 壮	沖縄市
ニンジンの里	112×63	組	おおき ゆうこう	南風原町
春のざわめき	50.8×61	単	おおき ゆうこう	南風原町
熱戦・祝福	77×107	組	島本 孝一	沖縄市
タコス兄弟	103×145.6	組	崎原 光明	豊見城市
ビーグ収穫	110×79	組	正木 虎夫	宜野湾市
寄り添う	42×51	単	津波古 光男	嘉手納町
Street Story	72×52	単	安次嶺 まり子	那覇市
夢の中へ	62×51	単	安次嶺 まり子	那覇市
久高島遠望	49.5×40	単	豊島 貞夫	那覇市
暮れなずむ街	60×44.5	単	楚南 富美子	那覇市
街角ウォッチング	44.5×60	単	楚南 富美子	那覇市
わたしの住む街	72×61	単	宮森 和夫	沖縄市
カラフルパラソル	72×61	単	宮森 和夫	沖縄市
路地裏	54.5×67.5	単	島田 美佐子	うるま市
警戒食	65×90	単	大城 慶子	豊見城市
ベストを尽くす	89×129	組	安里 寿美	沖縄市
「コロナに負けずアートだ!」	110×80	組	外間 加代子	南城市
うりずん	61×72	単	仲程 梨枝子	那覇市
網	61×72	単	仲程 梨枝子	那覇市
天使のキス	50.5×65.5	単	神里 隆	那覇市
小さな冒険	62×51.5	単	安里 涼子	那覇市
庭に親子鳥	51.5×62	単	安里 涼子	那覇市
東南植物楽園	21.5×28.8	写真集	西銘 美佐子	沖縄市
水分補給	59×44	単	眞志保 義夫	沖縄市
おしりあい	51.5×62.5	単	鈴木 康子	豊見城市
ひまわり君	52×62	単	大城 勝子	糸満市
ティーラノザウルスと遊ぶ	62×76	単	与儀 文夫	中城村
海カップ参上!	80×69	単	安田 拓	北中城村
公園のある光景	82×110	組	崎濱 慶子	那覇市
青春を自撮り	55×75	単	崎濱 慶子	那覇市
白波の煙る	51.5×62.5	単	新垣 良子	那覇市

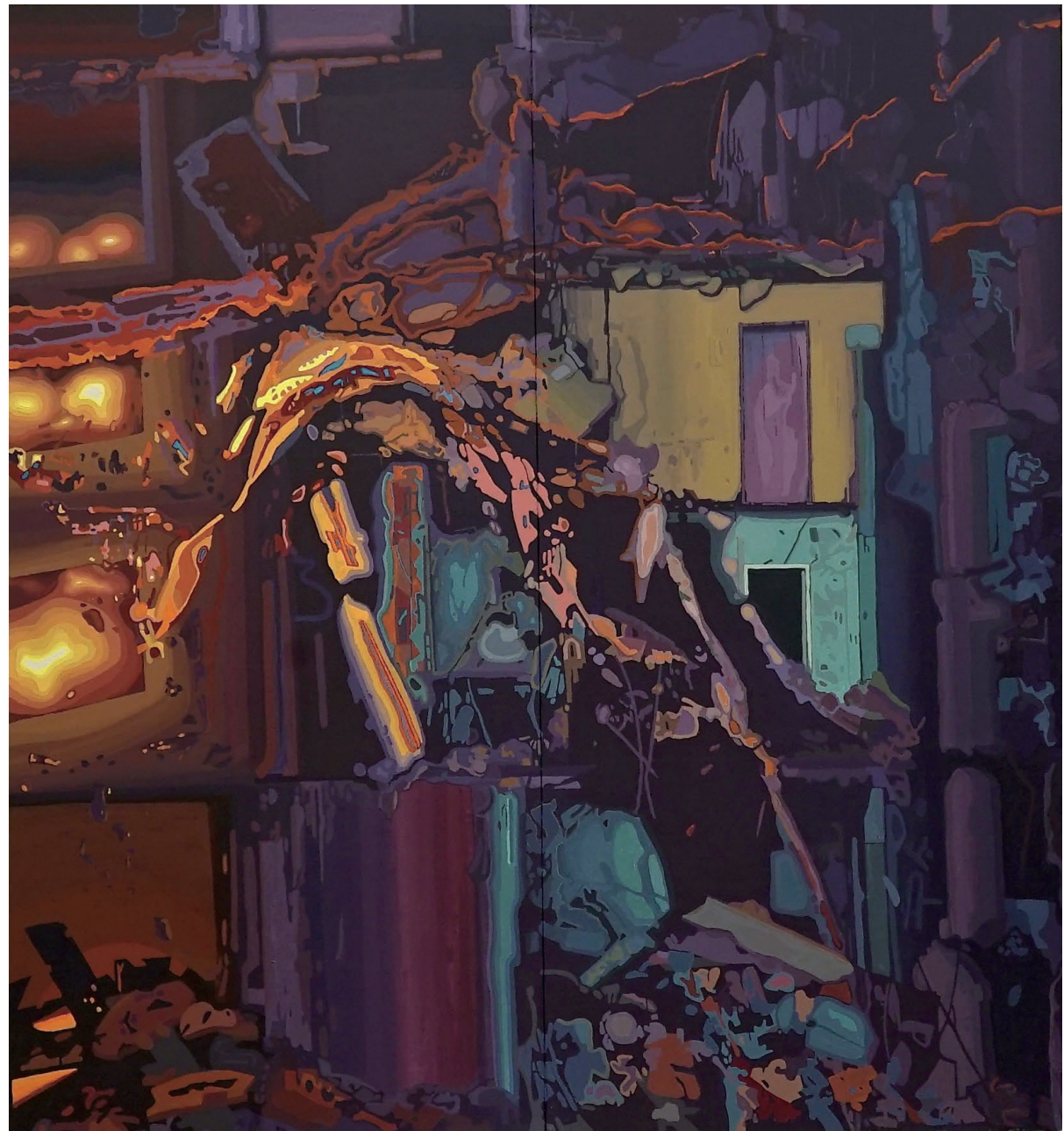
題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
願いよとどけ	111×69	組	我喜屋 功	那覇市
湖上のにぎわい	58×71	単	我喜屋 功	那覇市
熱い二人	47×62	組	平良 克之	那覇市
忘れ得ぬ日	51×61.5	単	具志堅 一彦	宜野湾市
影	62×51	単	小出 由美	那覇市
[?]	63×63	単	神田 守	那覇市
出現	54×54	単	神田 守	那覇市
雨の贈り物	78.8×94.3	組	砂川 悦子	豊見城市
火を吹く男	68.8×55.8	単	砂川 悦子	豊見城市
花嫁	59×43.5	単	島袋 メリ子	宜野湾市
壺屋の廃屋	72×62	単	喜友名 寛	沖縄市
明日への希望	80.4×107.8	組	安田 正昭	那覇市
光の離宮	149×90	組	喜名 朝駿	那覇市
餌さがし	62×72	単	伊禮 正一	浦添市
太古の輝き	60×75	単	大城 敏雄	与那原町
黎明	53×64	単	我那覇 安勇	那覇市
大空へ	51×62.5	単	幸喜 あかり	沖縄市
ハチウクシー	62×51.5	単	宮良 正子	うるま市
影踏み	63×52	単	新垣 允啓	豊見城市
カミンチュ	64×78	単	新垣 允啓	豊見城市
夜桜花道	57×82	単	天久 ゆういち	宜野湾市
轟桜	63×75	単	天久 ゆういち	宜野湾市
アメリカ世の名残り	83×113	組	花城 雅孝	那覇市
平安座島のサングワチャー	76×107	組	與那嶺 幸子	宜野湾市
よんだ?	62×51.5	単	藤本 永子	八重瀬町
日々是好日	78.5×68.5	単	砂川 盛榮	浦添市
光の絨毯	61.5×76.5	単	親富祖 勝枝	浦添市
dandy	61.5×76.5	単	親富祖 勝枝	浦添市
ひと休み	51.3×62.3	単	山田 恵美子	うるま市
相棒	62×52	単	儀間 生子	那覇市
待ちぼうけ	62×52	単	儀間 生子	那覇市
宙(大空)のオールスター	58.5×43	単	松田 義晃	読谷村
水のカーテン	62.5×45	単	仲宗根 加代子	沖縄市
まなざし	64×53	単	新里 ゆきえ	那覇市
私を見つめる	62.5×51.5	単	新里 ゆきえ	那覇市
翅やすめ	34×39.8	単	鶴田 萌	西原町
お姉ちゃんどうしたの!	51×62.5	単	下地 宏	沖縄市
まどろむ	25.4×36.6	単	比嘉 理仁	那覇市
夕陽と絆	43×53	単	呉卓佳NEO	豊見城市
大好きの日	43×53	単	呉卓佳NEO	豊見城市
帰り道	57×69	単	玉城 律子	宜野湾市
満天の笑み	51×62	単	玉城 律子	宜野湾市



■ 沖縄県知事賞

「理不尽」

比屋根 清隆



「理不尽」の画面の大きさや色彩の対比を意図して、流動的で放射された形の配置がひととき目立った作品である。

打ち砕かれた波紋とうねりが鮮烈なハレーションを起こして、燃えたぎる炎に変化したのだろうか。

作品にするきっかけとなる着想は日常のマスメディアが発するウクライナ侵攻映像が起因になったのであろう。

無差別破壊、爆破行為の現状は、絶え間なく人の命も人によって消され続けている。この重大さと、心身の苦痛に自らの命を想い叫びが〈主題〉となっているのだろう。燃えつきる建物の窓の背後に声が聞こえるようだ。

前回の新人賞に続く受賞となった。制作活動を通して、確かな表現力と感性豊かな創造性のある作品になった。

審査員 宮里 昌信

第52回沖縄県芸術文化祭

美術公募展

◆ ◆ ◆ ◆ 美術総評 ◆ ◆ ◆ ◆

大型で強い台風6号の影響で沖縄本島や離島に停電や冠水など大きな被害をもたらした。写真部門の作品受付がその影響を受け、事務局は混乱を招いたと思われる。美術部門の作品受付には影響はなかったが、出品者の作品制作においては大きな壁となり、制作に影響があったのではないかと推測する。今回の応募作品数は117点で応募人数は95名、平面作品が106点、立体作品が11作品であった。2作品を出品した作家が22名であり意欲的に取り組んだことを嬉しく思う。

審査は午前9時半過ぎから始まり、審査委員11名と事務局とで「美術公募展作品審査要領」の確認や総見により、応募作品の傾向を確認し作品審査がスタートした。応募作品は様々な技法や表情、異なった額装など、更に作品名から作者の心象を読み取り、11名の審査委員の専門的立場からの視点や考察により選定される。今回の117点の応募作品を確認、審査委員の過半数が挙手した作品を入選とし、優れた作品と評価された場合に賞候補として推薦する流れで進めていった。その結果、72作品が入選(賞候補も含む)となった。その中に中学生2名が力作を出品し、入選したことは嬉しい限りである。ただ、選外の45点は次回に期待したい。次に、賞候補として推薦された作品23点を審査委員の過半数での挙手を2回行い、9作品まで絞り込んだ。その後5回の投票で沖縄県知事賞や各賞を決定した。確認すると、賞候補の23点から7回の挙手や投票により各賞を決定した流れは、公開審査を行う中、公平かつ厳選な審査のもと進めてきたことをお伝えしたい。

最高賞の沖縄県知事賞には、比屋根清隆氏の「理不尽」が受賞。第51回には新人賞を受賞している。今回の作品も平面構成的に色分けされた独特の世界観であり、作者の感覚的感性がこの大作を生み出したと思われる。沖縄県文化振興会理事長賞には、前川麗香氏の「解体のリズム」が選ばれた。面板に彫り込みや着彩を施し、独自の感性による力強い表現は身に迫る力がある。奨励賞には、伊元隆一氏の「地中のひまわり」、城間文雄氏の「きく」、酒井貴彬氏の「芽吹く鉄」が受賞となった。新人賞は、受賞歴のない賞候補作品からくぎもと潮路氏の「山吹」が受賞した。各受賞評価は、担当審査委員の講評で確認をお願いしたい。

今回の公募展は初めに記載したように台風の影響により制作が難航した出品者もいたかと思われる。その中、多くの作品を出品して頂いた作家には敬意を表したい。この公募展は昭和47年から開催し、令和2年の第49回では新型コロナウイルス感染症により中止となったが、県内在住者としては絶えることなく継続して頂きたい。この優れた芸術作品を是非、鑑賞し、出品者の一人ひとりの熱意や表現に感謝し、今後の活躍を願い私の総評とする。

美術部門審査員長 赤嶺 雅

■ 沖縄県文化振興会理事長賞

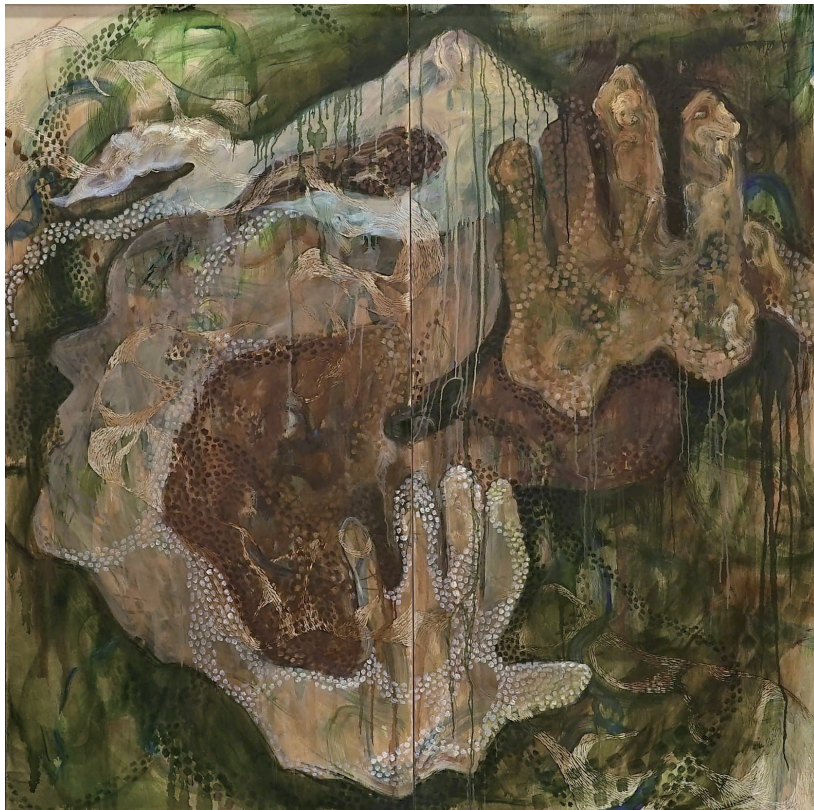
「解体のリズム」

前川 麗香

正方形の画面に、仁王像を思わせるような二つの手のひらがぬっと突き出している。薄く溶かれた絵具の垂れた痕や点、筆痕が無造作に荒々しくも見えるが、近づいて目を凝らすと彫刻刀で彫ったような線とも点ともつかないものも見て取れる。どこをとっても単体でははっきりした強さは感じられないが、細かいことにこだわらずに全体を見ると何とも力強さを感じる。じっと見ていると、手をかたどっている白い点の画面の彫り痕の白い木肌と響き合ってリズム感がこの絵から立ち上ってくる。点の並びが画面全体のうねりとなって奥からの点の流れが手のひらに集結し、放射されているようである。

作者はまだ若く、その若さが絵の良さとなって全体から匂いたっているように感じられる。どのように育ち、変化して行くか楽しみにしている。

審査員 西村 立子



■ 奨励賞

「地中のひまわり」

伊元 隆一

昨年の赤の画面に続き、今回は黄色の画面が全体に広がリインパクトの強い作品に魅了されます。

二つの分断された画面が完全に別のもではなく、赤のビビットカラーでつながり、画面にアクセントをもたらしています。

作者はウクライナに起こっている紛争への思いをひまわりに託し、地中に埋もれた犠牲者の悲しみを表現し、さらに現在の沖縄の現状にも危機感をつのさせます。それが、分断による危機であり、見過ごしのできない日常の中に潜むものとして、作品へのこだわりを追及しています。その思いが色面となり、画面に幾重とも引かれる線、図形、数字は複雑さの中にも、それぞれが効果的に配置されています。

作者の常に真摯に作品に取り組む姿勢に心から敬意を表します。

さらなる飛躍を期待してやみません。

審査員 上原 成美

■ 奨励賞

「きく」

城間 文雄

縦長の平面の中に、キクの花が力強くクローズアップされている。葉と茎の部分の軟らかなモノクロームは、確実な描写力に依って凛とした植物の瑞瑞しい生命力を表し、花の部分のみを彩色し、画面全体に緊張感を与えている。

大地に根を張っているであろう一輪の花は、柔らかな光を与えられ、バックの黒がフォルムと色彩を押し出し、「存在」と言うことの意味を象徴的に表現しているようだ。

バックの黒の部分に近くとみると、作者の制作への情熱が集積しているように、何万、何億かの小さな線が重なり締め合っている。ある意味単純作業に埋没する姿は、仄暗い空間の中で写経する僧侶が、無我の境地に入り込む姿を彷彿とさせる。

作者によると、紙と色鉛筆という、最小限の素材でどこまで表現できるか突き詰めて行きたいとの事である。単に対称物に肉薄するだけではない、強烈なメッセージ性を求めて、作品はより深く、展開し、変遷していくと思います。生きることの裏打ちを、これからも求め続けて行くことを期待します。

審査員 與那嶺 芳恵



■ 奨励賞

「芽吹く鉄」 酒井 貴彬

種子から上下に芽吹く網状脈が生命力に溢れ、曲線を奏でながらニョキニョキと伸びゆく姿は力強く実に美しい。ワクワクと心踊りながら、しばらくいろんな角度から見入る。

この作品にみられる「蠢き」と「のぞき込める」という構造は、見る者の心を惹きつけあらゆる世界へと誘う。

鉄という素材の持つ優雅さを見事に活かし、モチーフを通して内側と外側の心象が見て取れる。過去、現在、未来へと繋がり続けていく生命の息吹を感じる作品である。

彫刻表現における表現の多様性を感じると共に、作者の感性の豊かさが光っている。

今後の活躍が非常に楽しみです。

受賞、おめでとうございます!!

審査員 山川 さやか



■ 新人賞

「山吹」

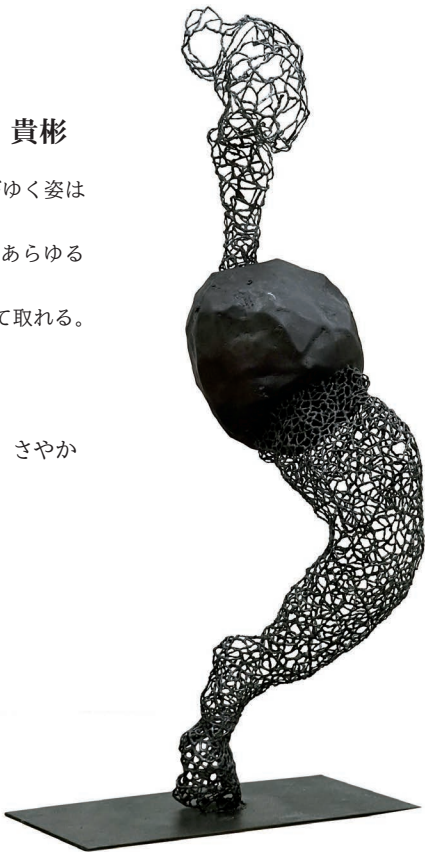
くぎもと 潮路

カーテンによって三つに分割された構図は大胆かつ明快である。それは見る人の目を瞬時にモチーフに引き付けている。逆光のなかで正面向きの人物には光りが当たってない。が、背景の白のトーンによって逆に人物が強調されている。カーテンを押し広げこちらに動き出しそうにしている少女は肩と手が黄色のカーテンに透け、画面に奥行きを感じさせる。この黄色こそは少女の生命感を表しているのだろうか。

余計なモノを取り除きシンプルで静寂な画面の中の少女のわずかな口元や目の動きを読み取ろうと、見る人を更に画面の奥へ、細部へ誘う。身近な者に真摯に向き合い普遍的な芸術に昇華する態度がみてとれる。

岩絵の具という日本古来の道具の良さを理解し、生かし、駆使し、魅力的、個性的な作品となっている。初出品、初入賞の新人賞に相応しく今後とも活躍を期待します。

審査員 仲本 和子



■ 美術公募展作品一覧

審査員出展作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名
ゆめうつつ	101×140	平面	石膏版画	仲本 和子
海のかたち	F100号	平面	アクリル ミクストメディア	上原 成美
はなI	80×53	平面	日本画	西村 立子
はなII	53×45.5	平面	日本画	西村 立子
OKINAWA 50・77	120×160	平面	ミクストメディア	屋良 朝彦
天翔ける者(あまかけるもの)	167.5×42.5×46	立体	板アクリル着彩	大城 譲
潮流のラビリンス	F100号	平面	キャンバス アクリル、パス	佐久本 伸光
公益質屋跡 (伊江島)	162×162	平面	画仙紙 顔彩	宮里 昌信
大気の教える事	171×91	平面	アクリル	與那嶺 芳恵
lbuki	178×42	平面	ミクストメディア	山川 さやか
時が織り成すもの	121×93	平面	紙・顔料インク	赤 嶺 雅

無鑑査出展作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名
早朝の散歩	120×193	平面	油彩	知念 秀幸
Emotional	185×185	平面	アクリル	池原 優子
是空	164×132	平面	油彩その他	鶴見 伸
黒い森	188×188	平面	油彩	平川 宗信
地相2023	177×175	平面	アクリル	與那覇 勉

美術入賞作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
沖縄県知事賞 理不尽	198.5×185	平面	アクリル	比屋根 清隆	沖縄市
沖縄県文化振興会理事長賞 解体のリズム	183×183	平面	油彩	前川 麗香	浦添市
奨励賞 地中のひまわり	175×166	平面	アクリル	伊元 隆一	読谷村
奨励賞 きく	180×92	平面	色鉛筆	城間 文雄	那覇市
奨励賞 芽吹く鉄	168×75×53	立体	鉄	酒井 貴彬	那覇市
新人賞 山吹	182×76	平面	岩絵の具	くぎもと 潮路	豊見城市

美術入選作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
沖縄Old Denim Textile	84 ×118	平面	版画・ベニア・ デニム	福島 弘子	那覇市
彩海	196×164	平面	アクリル	八木 洋子	うるま市
memory	91×179	平面	アクリル・麻布・ 塩ビ・紙・板	石原 美智子	与那原町
作品03	82×70	平面	アクリル	稲福 樹	沖縄市
かえりみち	71×63	平面	アクリル	新垣 虹七	沖縄市
救われる思い	120.2×163.3	平面	油彩	源河 秀美	うるま市
追憶	194×130	平面	油彩	大城 春信	那覇市
レモンと海	136×168	平面	油、アクリル	津波古 政廣	恩納村
島の願い	143×175	平面	油彩	添石 良健	沖縄市
ホライゾン (白南風に奏でる)	176×145	平面	油彩 箔	糸洲 英子	豊見城市
与那国・紡ぐ	162×162	平面	ミクストメディア	仲宗根 市子	那覇市
静寂	163×197	平面	油彩	大田 隆男	北中城村
役目を終えて	107×133	平面	アクリル	亀浜 勇吉	那覇市
るすばん②	126.5×100	平面	油彩	島袋 恵美子	嘉手納町

美術入選作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
スモール ヒージャーの旅	62×120×90	立体	木材 琉球石灰岩 テラコッタ	平敷 傑	那覇市
鎮魂ー時刻の中の モニュメントー	40×46×35	立体	陶土	神村 吉次	那覇市
アオイグラス(W)	93×118.5	平面	水彩 (アクリル、鉛筆等)	大橋 幹	那覇市
アオイグラス(S)	94×68.5	平面	水彩(アクリル、 鉛筆、パステル)	大橋 幹	那覇市
夏休み	141×174	平面	油絵	仲本 潤一郎	沖縄市
世知辛い	104×73.5	平面	デジタル プリント	饒平名 飛鳥	那覇市
変わりゆく夜	104×73.5	平面	デジタル プリント	饒平名 飛鳥	那覇市
イキルイミ	95×190	平面	ミクストメディア	秋山 颯馬	那覇市
努力	80×99	平面	ミクストメディア	秋山 颯馬	那覇市
ギーザパンタ(慶座絶壁)	72.7×91.0	平面	油彩	金城 幸孝	糸満市
ファンタジー	182×166	平面	油彩	高原 武子	嘉手納町
空明流光	25×30×25	立体	3Dプリント・ 陶磁器	田 東沢	那覇市
桜うさぎ	41×41	平面	アクリル	方頌怡 SOIE	豊見城市
海うさぎ	41×41	平面	アクリル	方頌怡 SOIE	豊見城市
島の詩シリーズⅢ	170×135	平面	油彩	いがわ はるよし	糸満市
私の中のリーロン (里弄)シャンハイ	107×76	平面	油彩	権田 律子	糸満市
カシュガル:冬の職人街	91×107	平面	油彩	権田 律子	糸満市
老木のダンス	95×125	平面	水彩	崎野 欣二	那覇市
シルミチューの岩壁	92×122	平面	水彩	大城 昌光	那覇市
ベンダ	100×40×30	立体	FRP(樹脂)	かがみ じょうじ	那覇市
刻(白い壁)	186×94×10	平面	発泡スチロール	松本 幸昌	那覇市
つながるー78年前 私は5歳だった	162×194	平面	アクリル	仲座 包子	中城村
自然の恵み	115×76(台布) 手まり直径 9～19(9個)	立体	刺しゅう糸、 かがり糸、綿鈴	竹本 節子	那覇市
収穫のひととき	180×150	平面	油絵	下地 邦敏	沖縄市
53番目の異世界 (2021) (露以前)	157×155.4	平面	油性ペン	与那覇 俊	豊見城市
沖縄沈黙の記録	185×186.5	平面	ミクストメディア	砂川 恵光	浦添市

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
黙示の証言台	150×60×60	立体	陶器・木材	伊志嶺 達雄	名護市
照間	96×192	平面	照間ビーグ	荷川取 大祐	うるま市
Temptation of spring(1)	80.5×117	平面	油彩 アクリル絵の具 キャンバス	つじの えみり	糸満市
Temptation of spring(2)	80.5×117	平面	油彩 アクリル絵の具 キャンバス	つじの えみり	糸満市
門口の樹	85.5×104.5	平面	油彩	下地 玄栄	浦添市
金武のマングロープ林	53×98	平面	アクリル	新里 学	浦添市
黄色のアパート	166×116	平面	アクリル	伊芸 匠志	うるま市
Pixel_No.102	93.5×67.5	平面	アクリル	Takahiro Morine	うるま市
Pixel_No.103	93.5×67.5	平面	アクリル	Takahiro Morine	うるま市
HOPE	168.5×133	平面	油彩	比嘉 陽子	南城市
偽善者I	76.5×95	平面	水彩	渡久地 利江子	西原町
偽善者II	75.5×94.5	平面	水彩	渡久地 利江子	西原町
城	134×166	平面	油彩	狩俣 正	豊見城市
むすんでひらいて	66×63	平面	キルト綿・ ジェスモナイト・ 岩絵の具	高田 陽子	宜野湾市
朝焼け	92×120	平面	油彩	大城 和子	与那原町
祈り - day to day -	140×100	平面	木版画・新聞・ ウチカビ・ウコー・ コラーージュ	座喜味 盛亮	名護市
かりそめの平和	162×130	平面	油彩	島袋 梓	読谷村
SCHOOL MILK	100×61×61	立体	スチレンボード・ 牛乳パック・ 紙粘土	大川 晃	西原町
SCHOOL MILKII	51.5×37× 27.5	立体	スチレンボード・ 牛乳パック・紙粘土・ 人工芝・模型人形	大川 晃	西原町
心の窓	44.5×35.5	平面	アクリル	山本 智子	宜野湾市
Piece of human #23	100×100	平面	インクジェット	浦田 健二	糸満市
Piece of human #38	100×100	平面	インクジェット	浦田 健二	糸満市
命綱	140×80	平面	アクリル	Kate O'Callaghan	恩納村
色の構図	110×110	平面	お花紙 木材	上原 進	南城市
Tsumugu	91.6× 117.3	平面	アクリル絵具	玉元 優江	与那原町
パパ帰らないの？ ママお腹がすいたよ。	186×187	平面	油彩	伊禮 亮	嘉手納町

第52回沖縄県芸術文化祭 書道公募展

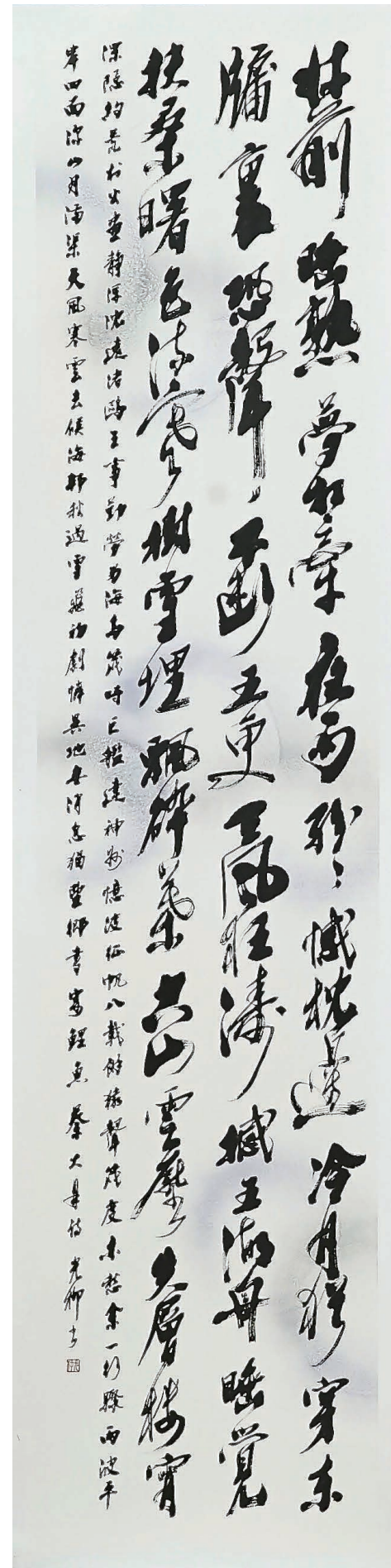
◆ ◆ ◆ 書道総評 ◆ ◆ ◆

猛威をふるい多大の爪痕を残して台風6号が去った。8月13日(日)、書道部門の審査が行われた。去年より20点増の141点の応募があり、朝9時半審査開始。全作品を総覧後、漢字→かな→調和体(近代詩文書)→篆刻→刻字の順で作品を見てゆき、審査員の過半数以上の挙手で、まず、110点が選ばれた。さらに去年の展示状況を踏まえ、保留とした16点を再見し、その中より8点を加え合計118点を入選と決定し、午前の審査終了。昼食後、入賞作品を選ぶ審査へと進む。高得点の入選作品が多く、8点以上獲得の89点より入賞作品を選出することになり、「賞候補」と声のかかった18点を壁面に展示し、4回の投票を経て、受賞6作品が決まった。

県知事賞から奨励賞の5作品はすべて漢字作品であるが、五人共これまでに入賞実績のある実力者揃いであり、5作品それぞれ、精進を重ねた線・作品構成の工夫・いかに見せるか、アピール力を高めるか…等々をよく考え、持ち味が充分発揮され五者五様の魅力あふれる表現になっている。各作品を楽しんでいただきたい。また、新人賞作品は、すっきりとさわやかに、かな書の姿をみせている。

今年度は高得点の入選作品が多く、コロナ禍からようやく解放されつつある今、応募作品から書に向かう意気込みが感じ取れ、今後に希望が見えた。これからは生活の中で書に親しみ生涯の友として書き続けて行こう。

書道部門審査員長 小杉 紘南



■ 沖縄県知事賞 「蔡大鼎詩」 伊波 エツ子

沖縄県知事賞、おめでとうございます。

琉球漢詩の蔡大鼎の詩を大字三行、細字二行にまとめあげた行書連綿体の作品。上部分は自由闊達に動きをつけ、下部分は次第に小さくし足元を締め、作品全体にメリハリをつけ、一気呵成に書かれた秀作。

墨の乗せ方にも工夫が見られ一文字の中でも文字の前半に乗せたり、後半に乗せたり、右側に左側に乗せたりと巧みに墨量の変化をつけ、楽しみながら連筆している様子が見て取れる。

また、一行目の「前」、二行目の「聲」の縦画、「断」の最終画等の線の変化、「邊」のしんじょうの横画への響き等自然に筆を操っている箇所はベテランの域を感じさせる。また、作品効果を上げる工夫としてグレーの料紙と墨色の割合が絶妙にマッチし、作者の作品に対する気遣いが感じられる。今後楽しみながら精進されることを祈念する。

審査員 連天 南陽

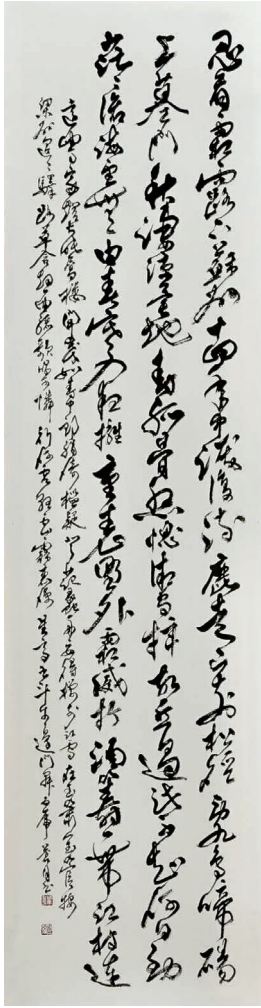


■ 奨励賞
「曉至湖上」
金城 久弥

審査員 真喜屋 華泉

明清代の古典を基調とした行草連綿の作。斬新な構成は見る者を魅了する。堂々たる豪快な大字十文字の一行に対し、添えられた二行の軽快な行草が見事に調和し、周りの余白が一段と冴えわたった鍊度の高い作。この構成法はこれからの分野に明るい兆しを齎すに違いない。

昨年に引き続き、二度目の奨励賞である。「文字を敬い筆に感謝の礼を尽くし、一作に心魂の限りをかけよ」と師の言葉がある。今後も稽古鍛錬を怠ることなく、この道のプロフェッショナルとして斯界に貢献をしてもらいたい。更なる精進を期待する。

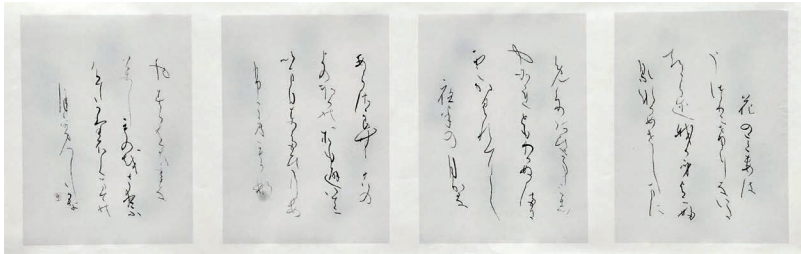


■ 奨励賞
「漢詩」
神里 和子

審査員 大城 碧鳳

忍看霜から始まる琉球漢詩の多字数作品。強靱な筆勢で大字三行と小字二行にまとめた緊張感とゆったりとした佳作である。作品のポイントは二行目の秋凄で墨が入り徐々にかすれ、封弧でまた墨を入れ遠近感が出て全体を引き締めている。多字数の作品は行間の処理が難しく窮屈になりがちだが、書作品の基本要素である文字の大小・字間・余白に加え、潤渇が冴えている。この受賞を機会に課題二点を記しておく。①右上がりを抑えること。②全体の文字数を少なくする。

今後の益々の精進を期待する。



■ 新人賞
「百人一首より」
與那覇 博美

この作品、全懐紙を縦に使い、一枚に和歌一首(百人一首の歌)を書き、四枚を横に並べて一組とした「かな作品」である。細線で平明な字形を多く使用した基本的な四行書きの作品であるが、気負わず丁寧な運筆で書かれ、安定感のある構成からは、おだやかな雰囲気伝わってくる。ただ、作品全体の静かでおとなしい印象から少タイムパクト不足にも見えるが、引かれた線からは、日頃の地味な古典臨書の積み重ねがうかがえ、かな書本来の魅力はしっかり見て取れる。墨量の加減、渴線の訓練が今後の課題であろうか…。

ともあれ、まさに新人賞にふさわしいフレッシュな作品と言えよう。新人賞受賞、おめでとうございます。

審査員 小杉 紘南

■ 沖縄県文化振興会理事長賞
「李白詩」
仲宗根 司

沖縄県文化振興会理事長賞受賞おめでとうございます。

李白の詩をダイナミックに三行に書いた作品です。力強い線の動きが響き合い、行間の白の美しさが際立っています。

また、よどみない流れをみているような心地よいリズムを感じます。時折現れる破筆は、紙面に奥行きを作り出しています。潤活の変化も面白い。課題は三行目の終演部分のおさめ方です。少し重く感じます。もう少し軽やかに終わるといいかなと思いました。今後ますますのご活躍を期待いたします。

審査員 田名 洋泉



■ 奨励賞
「雑詩」
長堂 加代子

多字数作品は、書き出しから最後まで適度の緊張感を保ちながらも、気負いなく一貫した気脈の運筆がその善し悪しを左右する。

この作品は、120字を一貫した気脈で、大字三行に、後半を小字二行にまとめている。大字の三行は、長鋒を駆使した多彩な線でリズムよく筆を走らせている。文字の大小、肥瘦、潤渇と適度のデフォルメを巧みに織り交ぜ、行の揺れを創りだし心地よい余白の妙を醸し出している。

また、薄い縦の罫線が紙面を引き締め、小字の二行も大字と調和し、作品効果に一役を担って見るものを引きつける佳作となった。

作者は、県外公募展でも活躍中で、今後のご活躍が期待される。

審査員 砂川 桂峰



書道公募展作品一覧

審査員出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
かなしゃ	C	漢字	我喜屋 明正
スマイル	B横	前衛	濱元 加陽
豌豆の花	B横	調和体	眞喜屋 華泉
晩次郷溪(くれにきょうけいにじす)	B縦	漢字	仲里 光雲
愛全結帯	D	篆刻	東江 順子
楓橋夜泊(張継詩)	C	漢字	運天 南陽
望海山(海山を望む)	B横	漢字	大城 碧鳳
西行法師の歌	B横	かな	小杉 紘南
燈籠上に舞を作す(とうろうじょうにまいをなす)	A縦	漢字	砂川 桂峰
五言句	B横	漢字	田名 洋泉
江を渡る 他四首	B横	漢字	中村 泉抄

無鑑査出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
蘇東坡詩(そとうばし)	A縦	漢字	島 尚美
風車(かじまやー)	B縦	漢字	神山 律子
李太白詩	A縦	漢字	上門 かおり
銀も金も	B縦	かな	新里 明美
夜半	A縦	漢字	西蔵盛 英雄
程順則詩	A縦	漢字	仲舛 由美子
静夜吟(せいやのぎん)	A縦	漢字	高江洲 朝則

書道入賞作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
沖縄県知事賞 蔡大鼎詩	A縦	漢字	伊波 エツ子	読谷村
沖縄県文化振興会理事長賞 李白詩	A縦	漢字	仲宗根 司	沖縄市
奨励賞 雑詩	A縦	漢字	長堂 加代子	読谷村
奨励賞 漢詩	A縦	漢字	神里 和子	南風原町
奨励賞 曉至湖上	A縦	漢字	金城 久弥	八重瀬町
新人賞 百人一首より	B横	かな	與那覇 博美	那覇市

書道入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	安里 弘子	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	島田 直子	うるま市
李白詩	A縦	漢字	佐渡山 香	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	德里 美代子	嘉手納町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	川上 タケミ	北中城村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	内間 カズ子	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	古賀 日奈子	西原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮里 えり子	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	富山 美智子	宜野湾市
陆游詩	A縦	漢字	川中 留美	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	伊佐 直美	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮城 みち子	中城村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	奥濱 喜美子	浦添市
霽夜 他一首	A縦	漢字	友寄 恵子	伊江村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	香村 春乃	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	比嘉 さつき	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	與那覇 初子	北谷町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	久志 すぎの	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮城 律子	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	屋良 美香	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	川上 秀子	北中城村
書譜(孫過庭)	A縦	漢字	湧田 市子	沖縄市
杜甫詩	A縦	漢字	翁長 実加	浦添市
書譜(孫過庭)	A縦	漢字	新垣 恵津子	嘉手納町
蘇東坡詩	A縦	漢字	真栄田 義之	那覇市
秋興	A縦	漢字	伊禮 かおる	豊見城市

書道入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
金山寺に遊ぶ	A縦	漢字	永山 千里	那覇市
漢詩(蘇軾)	A縦	漢字	新垣 貴子	那覇市
咏柔遠驛荔枝	A縦	漢字	清水 七子	西原町
蘇軾二首	A縦	漢字	小川 未加	那覇市
蘇東坡詩	A縦	漢字	上原 好美	読谷村
杜甫詩	A縦	漢字	崎浜 千鶴子	北谷町
杜子美詩	A縦	漢字	與那覇 律子	宜野座村
李白詩	A縦	漢字	仲村 冴子	北中城村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	屋宜 由季奈	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	幸喜 薫	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	大城 千春	宜野湾市
寒山詩	A縦	漢字	富山 史奈	那覇市
以人為鑑 福生於無為	D	篆刻	安里 涼子	那覇市
天地万象 有朋遠来	D	篆刻	田頭 節子	那覇市
高宮谷贈鄭鄩 他一首	A縦	漢字	仲原 真津枝	宜野湾市
訪香林老 他二首	A縦	漢字	上江田 敏博	豊見城市
唐詩	A縦	漢字	上原 妙子	読谷村
渡湘江	B縦	漢字	金城 功	豊見城市
椿さきいづ	B横	かな	渡名喜 香代子	浦添市
野辺のみどり	B横	かな	古波蔵 悦子	宜野湾市
岑參詩	A縦	漢字	宮城 艶子	宜野座村
秦川を望む	A縦	漢字	上間 智子	沖縄市
張說詩二首	A縦	漢字	奥間 千津子	嘉手納町
李白詩	A縦	漢字	天久 美津枝	読谷村
江上送別	A縦	漢字	阿部 好弘	伊江村
順風滿帆 一登龍門	D	篆刻	上間 道子	那覇市
積厚流光 湯池鉄城	D	篆刻	山城 千恵子	那覇市
山居秋懷 他一首	A縦	漢字	古堅 直子	伊江村
新涼 他一首	A縦	漢字	浦崎 康哉	名護市
琉球漢詩(蔡温二首)	A縦	漢字	玉那覇 明美	与那原町
平岡直子詩	A縦	近代詩文書	金良 健之介	南風原町
海	A縦	調和体	金城 めぐみ	八重瀬町
詠梅	A縦	漢字	上原 貴子	那覇市
渡雙溪	A縦	漢字	嶺井 由起子	那覇市
玩秀軒	A縦	漢字	宮城 秋夫	南城市
静坐吟	A縦	漢字	山川 結加	那覇市
虎山橋玩月	A縦	漢字	山里 昌輝	久米島町
曉至湖上	A縦	漢字	亀川 盛敏	西原町
舒位詩	A縦	漢字	池宮城 秀斗	那覇市
東寺竹	A縦	漢字	宇良 樹希	名護市
春来	A縦	漢字	桑江 遼	浦添市
葉書山先生が里に帰るを送る	A縦	漢字	平良 祥太	南風原町
紀元節	A縦	調和体	後藤 豊彦	那覇市

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
日暮進帆富春山	A縦	漢字	翁長 淳	那覇市
雨中送客	A縦	漢字	益井 健次	南風原町
俞氏水樓	A縦	漢字	小橋川 スガ子	那覇市
録別其二	A縦	漢字	高橋 朋酬	那覇市
港	A縦	調和体	下地 京子	宜野湾市
瑤池	B縦	漢字	宮本 康由	西原町
蛩	B横	調和体	大城 喜美子	糸満市
惜日(その他二首)	A縦	漢字	上江洲 アケミ	那覇市
惜日(他一首)	A縦	漢字	石垣 光枝	豊見城市
まう	A縦	前衛	岸本 泰子	名護市
旅次武林期叔剛修撰不至(他一首)	A縦	漢字	知名 律子	中城村
和答登封王晦之登樓見寄 黄 庭堅	A縦	漢字	杵崎 ケイ子	浦添市
王安石詩	A縦	漢字	兼島 直美	八重瀬町
長安道	A縦	漢字	金城 綾子	八重瀬町
題勝上人山房	A縦	漢字	知念 レイ子	伊江村
石楠樹	A縦	漢字	新城 円香	宮古島市
春暮集飲周熙巨翠雲樓	A縦	漢字	山城 篤和	那覇市
蔡温詩	A縦	漢字	東徳嶺 輔	南風原町
范成大詩	A縦	漢字	知念 一正	石垣市
古今和歌集より十首	B縦	かな	喜納 竹子	与那原町
深山の秋	B横	かな	志田 美代子	浦添市
西行の歌 二首	B横	かな	當間 秀美	那覇市
張山人訪われ、草堂に留宿す	A縦	漢字	与儀 好子	那覇市
夕暮	B横	かな	仲村 妙子	沖縄市
澄める月	B横	かな	内間 隆子	うるま市
鶯かつら	A縦	かな	喜友名 正子	北中城村
海人娘子	A縦	かな	喜友名 晴香	北中城村
梅の花	B横	かな	外間 匡美	宜野湾市
藁屋の庭	B横	かな	比嘉 栄子	北中城村
衣手すずし	B横	かな	仲栄真 律子	沖縄市
夕つゆ	B縦	かな	仲宗根 ひろみ	沖縄市
雲井	B横	かな	渡慶次 喜代美	嘉手納町
元日の朝	B横	かな	福原 美枝	うるま市
月草	B横	かな	饒平名 真由美	那覇市
華	A縦	前衛	渡辺 京華	読谷村
梅の花	B横	かな	田原 帆ノ香	沖縄市
君がかげ	A縦	かな	宮城 多佳子	浦添市
花たちばな	B横	かな	仲里 美智子	宜野湾市
晩に岳陽に泊す 他二首	A縦	漢字	大田 安子	西原町
懐いを詠ず他一首	A縦	漢字	真謝 幸代	名護市
漢詩二首	A縦	漢字	島津 和美	名護市
舟人吹笛	A縦	漢字	渡口 葉子	うるま市
立徳	A縦	刻字	赤田 綾子	那覇市

■ 歴代部門別入賞者一覧

美術公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞				新人賞
S52	6	永山 信春	我如古 彰一			上原 隆昭	米須 敏三郎			
S53	7	米須 敏三郎	尚 武			川平 恵造	比嘉 良二	屋良 朝春		
S54	8	永山 信春	米須 敏三郎			川平 恵造	比嘉 良二	与那覇 朝大		
S55	9	与那覇 朝大	喜友名 朝紀			朝内 信二郎	新垣 安雄	瑞慶山 昇	能山 宗忠	
S56	10	川平 恵造	青山 映二			新城 剛	砂川 喜代	比嘉 良二		
S57	11	宮城 和邦	浦崎 彦志			上江洲 由朗	川平 恵造	当山 進		
S58	12	川平 恵造	和宇慶 朝健			伊元 隆一	上江洲 由朗	宮城 孝也		
S59	13	和宇慶 朝健	屋良 朝彦			伊元 隆一	砂川 喜代	和宇慶 朝健		
S60	14	上江洲 由朗		比嘉 良二		鎮西 公子	仲宗根 清	山内 盛博	屋良 朝彦	
S61	15	上江洲 由朗		金城 満		伊良部 恵勝	金城 準子	宮城 孝也		
S62	16	島袋 喜代子		伊良部 恵勝		金城 準子	知名 久夫	山田 武		
S63	17	金城 満		宮里 顕		叶 英樹	知名 久夫	屋良 朝彦		
H1	18	新垣 正一		屋良 朝彦		叶 英樹	三木 元子	山内 盛博		
H2	19	宮里 昌健		長嶺 斉		奥原 崇典	瑞慶山 昇	仲村 春孝		
H3	20	仲里 安広		新崎 竜也		奥本 静江	佐久間 盛義	瑞慶山 昇		
H4	21	奥本 静江		知念 秀幸		知名 久夫	仲本 清隆	宮城 和邦	宮里 昌健	
H5	22	知念 秀幸		池宮城 智子		玉城 正明	知念 盛一	比嘉 良徳		
H6	23	又吉 邦華		比嘉 良徳		稲嶺 盛一郎	上原 仁輔	三木 元子		
H7	24	赤嶺 雅		大城 朝康		叶 ひでき	志喜屋 徹	花城 勉		
H8	25	花城 勉		宮城 あすか		赤嶺 雅	奥原 崇典	我謝 弘行		
H9	26	大城 久美子		津波 古 稔		新垣 盛秀	磯村 茂	玉城 正明		
H10	27	松本 妙子		三木 元子		奥本 静江	西平 賀雄	根間 智子		
H11	28	永原 達郎		根間 智子		親川 松清	佐久本 米子	堀川 恭昭		
H12	29	津波 古 稔		豊永 盛人		安里 充広	小橋川 清一	宮城 和邦		
H13	30	与那嶺 芳恵		安富 幸子		大城 久美子	叶 ひでき	佐久本 米子		
H14	31	山川 さやか		梶井 昌智		栗山 絵美子	佐久本 米子	宮里 ユキ子		
H15	32	富元 明雄		与那嶺 芳恵		佐久本 米子	安富 幸子	山川 さやか		
H16	33	波平 栄宏		池原 優子		栗山 絵美子	富元 明雄	宮里 ユキ子		富名腰 ヨシ子
H17	34	池原 優子		富名腰 ヨシ子		上原 はま子	河原 圭祐	安富 幸子		野津 唯市
H18	35	島 袋 洋		釘本 成行		仲本 潤光	平川 宗信	上原 英樹		濱元 朝和
H19	36	佐久本 米子		橋本 弘徳		玉城 正明	城間 義夫	野津 唯市		宜保 和可乃
H20	37	奥原 崇典		宮城 翔子		野津 唯市	太田 成美	上原 英樹		栗山 ルリ子
H21	38	普天間 実佳		栗山 ルリ子		宮里 友三	上原 義正	玉那覇 英人		宮城 才子
H22	39	仲里 安広		玉那覇 英人		鶴見 伸	宮里 友三	濱口 真央		並里 幸太
H23	40	鶴見 伸		宮里 昌信		嵩原 武子	與那覇 勉	玉那覇 英人		中澤 将
H24	41	玉那覇 英人		宮里 昌信		鶴見 伸	伊波 則雄	與那覇 勉		金城 知美
H25	42	伊波 則雄		宮里 昌信		宮里 友三	具志堅 古秀	中澤 将		朝妻 彰
H26	43	鶴見 伸		與那覇 勉		北山 千雅子	具志堅 古秀	伊波 則雄		伊志嶺 達雄
H27	44	山城 道		與那覇 勉		仲程 悦子	金城 恵美子	北山 千雅子		饒平名 知健
H28	45	北山 千雅子		嵩原 武子		伊波 則雄	仲程 悦子	松本 幸昌		華山 聖作
H29	46	小泉 ゆりか			伊波 則雄	與那覇 勉	仲宗根 市子	並里 幸太		齋 悠 記
H30	47	伊志嶺 達雄			平川 宗信	與那覇 勉	仲程 悦子	仲座 包子		カガミ ジョージ
R1	48	齋 悠 記			福田 直樹	與那覇 勉	平川 宗信	松本 幸昌		浦田 健二
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止								
R3	50	平川 宗信			鈴木 まこと	城間 文雄	砂川 恵光	伊志嶺 達雄		棚原 麻里奈
R4	51	與那覇 勉			伊元 隆一	平 敷 傑	伊志嶺 達雄	浦田 健二		比屋根 清隆
R5	52	比屋根 清隆			前川 麗香	伊元 隆一	城間 文雄	酒井 貴彬		くぎもと 潮路

書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞			新人賞
H8	25	島野 裕司	眞喜屋 美佐		上 地 徹	香村 ナホ	比嘉 良勝	
H9	26	島 尚美	中村 裕美		泉 朝 信	砂川 榮	比嘉 良勝	
H10	27	中村 裕美	上 地 徹		新垣 洋子	砂川 榮	浜口 清子	
H11	28	神山 律子	砂川 榮		荻堂 ひろ子	眞喜屋 美佐	与那覇 典子	
H12	29	神山 律子	玉城 君子		砂川 榮	高江洲 朝則	眞喜屋 美佐	
H13	30	西蔵盛 英雄	連天 美代子		島 尚 美	長浜 和子	比嘉 千鶴子	
H14	31	比嘉 千鶴子	西蔵盛 英雄		金城 多美子	島 尚 美	眞喜屋 美佐	
H15	32	比嘉 さつき	我喜屋 文子		金城 多美子	高江洲 朝則	宮里 朝尊	
H16	33	上門 かおり	金城 多美子		高江洲 朝則	長山 りえ子	比嘉 千鶴子	上原 孝之
H17	34	高江洲 朝則	志村 京子		安里 友子	金城 多美子	宮里 朝尊	稲嶺 法子
H18	35	上原 貴子	斉藤 純子		與那覇 律子	宮里 朝尊	田頭 節子	山里 昌輝
H19	36	田頭 節子	斉藤 純子		與那覇 律子	幸喜 石子	山里 昌輝	該当者なし

書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞			新人賞
H20	37	新里 明美	幸喜 石子		石川 美智代	上門 かおり	山里 昌輝	普天間 完文
H21	38	仲舛 由美子	幸喜 石子		仲 里 徹	渡久地 美佐子	具志堅 ナエ子	金城 真理子
H22	39	上門 かおり	山里 昌輝		渡久地 美佐子	謝名堂 奈緒子	石川 美智代	喜友名 正子
H23	40	金城 真紀子	新里 明美		仲舛 由美子	渡久地 美佐子	松 淳子	松川 美智子
H24	41	渡慶次 喜代美	石川 美智代		與那城 千恵子	仲 里 徹	大仲 淳奈	城間 律子
H25	42	仲舛 由美子	上運天 春菜		謝名堂 奈緒子	渡慶次 喜代美	田頭 節子	安座真 賀子
H26	43	與那覇 律子	仲 里 徹		喜 納 京子	上原 千枝美	天久 美津枝	大田 安子
H27	44	幸喜 洋人	謝名堂 奈緒子		石津 陽子	仲 里 徹	田頭 節子	神里 和子
H28	45	真謝 幸代	上原 千枝美		上原 貴子	渡慶次 喜代美	田頭 節子	福原 美枝
H29	46	長堂 加代子		島津 和美	神里 和子	新垣 恵津子	當間 秀美	濱川 綾子
H30	47	伊波 エツ子		仲宗根 司	田頭 節子	喜友名 正子	金城 綾子	該当者なし
R1	48	田福 宏美		島津 和美	宮本 康申	湧田 市子	當間 秀美	該当者なし
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
R3	50	知念 一正		仲村 冴子	天久 美津枝	安里 涼子	平良 祥太	岸本 泰子
R4	51	伊禮 かおる		大田 安子	金城 久弥	東徳嶺 輔	仲里 美代子	該当者なし
R5	52	伊波 エツ子		仲宗根 司	長堂 加代子	神里 和子	金城 久弥	與那覇 博美

写真公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	県議会議長賞	市長会長賞	奨励賞			新人賞
S54	8	末吉 はじめ	嘉納 辰彦			田中 澄一	仲宗根 直	大嶺 信雄	上原 健次	小谷 隆男	
S55	9	大嶺 信雄	名嘉真 朝健			上原 健次	比嘉 清眞	川平 幸雄	照屋 忠	宮平 秀昭	
S56	10	嘉納 辰彦	大城 喜一郎			原田 欣哉	上地 完徳	大城 信吉	隅田 伸之	久田 友福	
S57	11	該当者なし	田場 盛雄			村澤 仲裕	久田友福・大城信吉	川平 幸雄	我那覇 生守	新里 和子	
S58	12	比嘉 朝之	上地 完徳					大城 信吉	久田 友福	村瀬 武文	
S59	13	大城 信吉	中村 正文					知念 清市	久田 友福	宮城 信秀	
S60	14	屋良 朝栄		吉直 新一郎				崎山 佳裕	比嘉 朝之	前原 常男	
S61	15	嘉数 繁光		大城 幸信				上原 健次	坂井 和夫	仲米 政雄	
S62	16	阿波連 勲		金城 幸彦				浦本 寛史	高塚 勝巳	新田 健夫	
S63	17	安田 敬子		末吉 はじめ				伊佐 美砂	金城 幸彦	知念 佑子	
H1	18	牧 直 實		伊芸 元一				上原 健次	知花 照子	比嘉 朝之	
H2	19	嘉数 和子		比嘉 睦子				金城 幸彦	儀間 真人	名嘉真 朝健	
H3	20	金城 幸彦		平 井 毅				大 川 修	翁長 正則	宮 本 伝	
H4	21	金城 幸彦		知花 照子				比嘉 文雄	宮 本 伝	山川 宥元	
H5	22	松門 重雄		島袋 正然				伊芸 元一	上地 キミ子	新田 健夫	
H6	23	登野城 安則		祖慶 良勇				上地 キミ子	仲宗根 直	平良 克之	
H7	24	富 平 実		伊芸 元一				上地 キミ子	崎山 洋子	比嘉 睦子	
H8	25	上地 キミ子		諸見里 光子				金城 一史	山城 正雄	与那城 武旭	
H9	26	染矢 尚武		松門 重雄				喜名 朝駿	友利 孝子	豊島 貞夫	
H10	27	知名 信子		染矢 尚武				瀬良垣 馨	平良 克之	真栄田 久嗣	
H11	28	平良 幸江		親泊 秀尚				阿南 鐵司	上地 キミ子	与那城 壮旭	
H12	29	中山 興也		波平 常則				石川 敬介	喜名 朝駿	當眞 嗣範	
H13	30	瑞慶覧 進		山城 和代				喜名 朝駿	祖慶 良勇	与那城 壮旭	
H14	31	喜名 朝駿		山城 盛達				佐久田 尚昌	長堂 嘉秀	宮城 義享	
H15	32	国古 倅明		祖慶 良勇				翁長 盛武	添石 幸安	富 平 実	
H16	33	仲村 千佳子		福村 安弘				小渡 静男	島袋 弘	山田 浩	松本 達子
H17	34	翁長 盛武		山城 和代				上原 健次	木村 正男	島 元 智	しんぎとえいじ
H18	35	仲村 千佳子		比嘉 清眞				仲 村 繁	小嶺 朝子	松本 達子	森山 ひろみ
H19	36	辺土名 朝功		吉直 新一郎				比嘉 清眞	松山 朝雄	岩城 禮子	島尻 郁美
H20	37	吉直 新一郎		比嘉 清眞				宇栄原 格	波平 栄宏	豊平 信則	泉谷 豊
H21	38	添石 艶子		大嶺 勝美				南 研 作	西原 けんじ	宮 良 文	比嘉 正栄
H22	39	島 元 智		国古 倅明				新城 直美	高野 生優	比嘉 清眞	城間 由美子
H23	40	島 元 智		島袋 陽子				比嘉 清眞	渡久地 政修	宮 良 文	長 堂 哲
H24	41	山内 弘子		田中 優子				祖慶 良勇	島袋 ムリ子	福盛 庸夫	又古 国夫
H25	42	砂川 悦子		新垣 フミ子				泉 朝 順	木戸 栄里	大嶺 自栄	兼 島 正
H26	43	山内 昌昭		宮城 米子				羽地 良磨	山内 弘子	城間 由美子	原国 政裕
H27	44	稲嶺 もりみつ		山内 昌昭				宮義 洋史	知念 信雄	大川 盛安	幸喜 あかり
H28	45	又古 英男		真栄城 浩				宮城 米子	城間 由美子	金城 直也	永味 節子
H29	46	宮義 洋史			新城 直美			花城 雅孝	與儀 美奈子	我喜屋 功	親富祖 勝枝
H30	47	玉城健次郎			大城 敏雄			砂川 悦子	喜屋武 敬子	名嘉 元希	天久 昌子
R1	48	添石 艶子			John H. Tien			安田 正昭	新垣 フミ子	城間 由美子	中村 秀雄
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止									
R3	50	屋富祖 良敬			玉城 健次郎			名嘉 久美子	正木 スエ子	長 濱 大	島田 美佐子
R4	51	高野 大			具志堅 一彦			与儀 文夫	宮良 正子	照屋 明	新里 ゆきえ
R5	52	山内 利江子			高野 大			名嘉 久美子	崎原 光明	喜名 朝駿	陳 敏